

家畜人工授精師講習会受講報告

フィールド科学系部門 生物生産技術班 氏名 日山 薫

1. はじめに（目的等）

西条ステーションでは、乳牛及び和牛の人工授精による繁殖を行っている。人工授精は後継家畜を生産するために必須の技術である。そこで家畜人工授精師講習会を受講し、その免許を取得した。

2. 期間・場所

期間：令和4年7月8日～8月10日

場所：広島県立農業技術大学校 〒727-0003 広島県庄原市是松町5-5-1

広島県立総合技術研究所 畜産技術センター 〒727-0023 広島県庄原市七塚町5-8-4

3. 参加者等

16名

4. 研修内容

講義

- ・畜産概論
- ・家畜の栄養
- ・家畜の飼養管理
- ・家畜の育種
- ・関係法規
- ・生殖器解剖
- ・繁殖生理
- ・種付け概論
- ・精子生理
- ・人工授精

実習

- ・家畜の飼養管理
- ・精液精子検査法
- ・生殖器解剖
- ・家畜の審査
- ・発情鑑定
- ・人工授精

5. まとめと感想

講義では、牛の飼育や遺伝の性質、生殖器におけるホルモンの作用やその解剖、人工授精の理論、人工授精に関する法律等について学んだ。実習では、精液の採取や検査方法、屠体の生殖器の解剖、生殖器を用いた精液注入棒の挿入の練習、実際の牛を用いた人工授精の練習等を行った。講習を受ける前は人工授精を行うことが非常に難しく、ほとんど成功したことがなかった。しかし、講義で生殖器の構造のイメージを掴み、実習で生殖器を用いて練習を行い、反復して人工授精の練習を行うことで成功率を格段に上げることができた。免許を取得することはできたが、産暦を重ねた個体等では上手く注入棒を挿入できない場合もあるため、そのような個体で成功率を上げることが今後の課題である。積極的に人工授精に取り組み、経験を積むことで西条ステーションの後継牛の生産に貢献していきたい。